

## 熊本大学薬学部での漢方生薬見学会レポート

佐々木 雄一

2020年10月25日（日）

宮本記念館を見学した後に、私たちは、熊大薬草パークを見学させていただきました。

順路沿いには、たくさんの薬草が植えてあり、今まで学んできた柴胡や麻黄などの生薬だけでなく、月桂樹や銀杏などの身近な植物も植えられていました。



その中でも、特に驚いたのは、アイラトビカズラでした。頭上が、アイラトビカズラの木で生い茂っており、その下にちょっとした休憩スペースが作ってありました。とても風情があり、こういうところで、お昼休憩などを過ごしたいと私は思いました。



子供の頃に遊んだ、オジギソウなども植えてあり、懐かしく感じました。特に、懐かしく感じたのは、牛蒡子でした。ひっつき虫で有名なオナモミに似ており、中の種子を生薬として使うことを学びました。後から聞いた話ですが、見学中に社長の背中に牛蒡子をくっつけて遊んでいた人がいたそうです。



見学した時間は、少なかったですが、いろんな生薬の起源植物を見学させてもらい、とても充実した時間を過ごせました。

